

2023年8月9日
富国生命保険相互会社

2023年度第1四半期報告

富国生命保険相互会社（社長 米山好映）の2023年度第1四半期
（2023年4月1日～2023年6月30日）の業績は添付のとおりです。

[目次]

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	3 頁
3. 四半期貸借対照表	6 頁
4. 四半期損益計算書	7 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	10 頁
7. 特別勘定の状況	11 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	12 頁



1. 主要業績

(1) 保有契約高、新契約高及び解約・失効契約高

① 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2022年度末		2023年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度末比	前年度末比	
個 人 保 険	3,159	221,734	3,158	100.0	221,008	99.7
個 人 年 金 保 険	562	21,722	556	99.0	21,499	99.0
個人保険+個人年金保険	3,722	243,456	3,715	99.8	242,507	99.6
団 体 保 険	—	172,790	—	—	173,734	100.5
団 体 年 金 保 険	—	23,048	—	—	23,223	100.8

(注)1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資、年金支払開始後契約の責任準備金及び個人年金保険に付加されている定期保険特約等の金額を合計したものです。
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

② 新契約高

(単位：千件、億円、%)

2022年度 第1四半期累計期間	新契約+転換による純増加		新 契 約	転換による純増加
	件 数	金 額	金 額	金 額
個 人 保 険	86	3,780	2,966	814
個 人 年 金 保 険	1	53	55	△ 2
個人保険+個人年金保険	88	3,833	3,022	811
団 体 保 険	—	47	47	—
団 体 年 金 保 険	—	164	164	—

2023年度 第1四半期累計期間	新契約+転換による純増加				新 契 約		転換による純増加	
	件 数	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	前年同期比	金 額	
							前年同期比	前年同期比
個 人 保 険	95	109.4	3,341	88.4	3,010	101.5	331	40.7
個 人 年 金 保 険	1	94.4	50	94.1	52	93.6	△ 1	—
個人保険+個人年金保険	96	109.1	3,391	88.5	3,062	101.3	329	40.6
団 体 保 険	—	—	11	24.1	11	24.1	—	—
団 体 年 金 保 険	—	—	0	0.1	0	0.1	—	—

(注)1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
2. 新契約+転換による純増加の個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資と個人年金保険に付加されている定期保険特約等の金額を合計したものです。
3. 新契約の団体年金保険の金額は、第1回収入保険料です。

③ 解約・失効契約高(個人保険+個人年金保険)

(単位：億円、%)

区 分	2022年度 第1四半期累計期間	2023年度 第1四半期累計期間	
		前年同期比	前年同期比
解 約 ・ 失 効 契 約 高	2,837	2,944	103.8
解 約 ・ 失 効 率	1.15	1.21	0.06

(注)1. 失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。
2. 解約・失効率の前年同期比には増減ポイントを記載しています。

(2) 年換算保険料

①保有契約

(単位：億円、%)

区 分	2022年度末	2023年度	
		第1四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	2,629	2,627	99.9
個 人 年 金 保 険	1,066	1,060	99.5
合 計	3,695	3,688	99.8
うち医療保障・生前給付保障等	1,164	1,166	100.2

②新契約

(単位：億円、%)

区 分	2022年度 第1四半期累計期間	2023年度	
		第1四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	33	40	121.6
個 人 年 金 保 険	1	1	94.4
合 計	34	41	120.4
うち医療保障・生前給付保障等	18	18	95.7

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障(入院、手術等)、生前給付保障(介護、生活障害等)、保険料払込免除(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2022年度末		2023年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	525,043	7.4	455,212	6.2
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	25,897	0.4	22,463	0.3
有 価 証 券	5,692,461	80.1	5,971,355	81.8
公 社 債	3,003,156	42.3	3,089,514	42.3
株 式	808,831	11.4	914,176	12.5
外 国 証 券	1,705,027	24.0	1,751,136	24.0
公 社 債	1,194,387	16.8	1,225,187	16.8
株 式 等	510,639	7.2	525,948	7.2
そ の 他 の 証 券	175,445	2.5	216,527	3.0
貸 付 金	524,193	7.4	530,920	7.3
保 険 約 款 貸 付	47,088	0.7	46,850	0.6
一 般 貸 付	477,104	6.7	484,069	6.6
不 動 産	242,980	3.4	243,337	3.3
繰 延 税 金 資 産	13,829	0.2	—	—
そ の 他	83,918	1.2	78,496	1.1
貸 倒 引 当 金	△ 826	△ 0.0	△ 867	△ 0.0
合 計	7,107,497	100.0	7,300,918	100.0
うち 外 貨 建 資 産	1,802,337	25.4	1,814,231	24.8

（注）不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外)

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	738,300	808,660	70,360	70,424	64	739,295	808,690	69,395	69,415	19
公 社 債	738,300	808,660	70,360	70,424	64	739,295	808,690	69,395	69,415	19
外 国 公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	47,755	48,148	392	402	9
公 社 債	—	—	—	—	—	47,755	48,148	392	402	9
外 国 公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	4,307,988	4,839,472	531,484	676,027	144,543	4,301,346	5,069,980	768,634	874,415	105,780
公 社 債	2,246,987	2,264,856	17,868	99,271	81,402	2,263,346	2,302,463	39,116	106,782	67,665
株 式	352,575	739,891	387,316	389,227	1,911	352,650	845,268	492,617	493,860	1,242
外 国 証 券	1,574,356	1,675,753	101,396	160,374	58,977	1,525,288	1,723,373	198,085	233,878	35,793
公 社 債	1,169,512	1,184,154	14,642	68,369	53,727	1,136,221	1,218,961	82,739	113,663	30,924
株 式 等	404,844	491,598	86,754	92,004	5,250	389,066	504,412	115,345	120,214	4,868
その他の証券	134,069	158,971	24,902	27,153	2,251	160,060	198,875	38,814	39,894	1,079
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	5,046,289	5,648,133	601,844	746,451	144,607	5,088,397	5,926,819	838,422	944,232	105,810
公 社 債	2,985,287	3,073,516	88,228	169,695	81,466	3,050,397	3,159,302	108,904	176,599	67,694
株 式	352,575	739,891	387,316	389,227	1,911	352,650	845,268	492,617	493,860	1,242
外 国 証 券	1,574,356	1,675,753	101,396	160,374	58,977	1,525,288	1,723,373	198,085	233,878	35,793
公 社 債	1,169,512	1,184,154	14,642	68,369	53,727	1,136,221	1,218,961	82,739	113,663	30,924
株 式 等	404,844	491,598	86,754	92,004	5,250	389,066	504,412	115,345	120,214	4,868
その他の証券	134,069	158,971	24,902	27,153	2,251	160,060	198,875	38,814	39,894	1,079
金 銭 の 信 託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

・市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2022年度末	2023年度 第1四半期会計期間末
子 会 社 ・ 関 連 会 社 株 式	64,787	64,787
そ の 他 有 価 証 券	36,051	38,001
国 内 株 式	5,709	5,678
外 国 株 式	—	—
そ の 他	30,341	32,322
合 計	100,838	102,788

(注) 内外投資事業組合は、本表の「その他有価証券」のうち「その他」に含めておりますが、内外投資事業組合が保有する「その他有価証券」の評価差額等については、持分相当額(2022年度末3,616百万円、2023年度第1四半期会計期間末5,308百万円)を、貸借対照表価額に含めて計上しています。

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第1四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時 価	差損益		四半期貸借対照表計上額	時 価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
金 銭 の 信 託	25,897	25,897	-	-	-	22,463	22,463	-	-	-

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2022年度末		2023年度第1四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	四半期貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	24,897	△0	21,463	40

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	2022年度末					2023年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益		帳簿価額	時 価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
責任準備金対応の金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の金銭の信託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(ご参考) 不動産（土地・借地権）の評価額

(単位：百万円)

2022年度末			2023年度第1四半期会計期間末		
貸借対照表計上額	評 価 額	差 損 益	貸借対照表計上額	評 価 額	差 損 益
149,749	314,057	164,307	149,661	314,159	164,498

(注) 評価額は、鑑定評価額、公示地価等を基準に算定しています。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	2022年度末 要約貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第1四半期会計期間末 (2023年6月30日現在)
(資産の部)		
現金及び預貯金	402,472	313,255
コールローン	130,000	150,000
金銭の信託	25,897	22,463
有価証券	5,799,182	6,088,343
(うち国債)	(2,395,965)	(2,494,371)
(うち地方債)	(92,958)	(97,050)
(うち社債)	(542,134)	(526,190)
(うち株式)	(836,501)	(945,939)
(うち外国証券)	(1,756,176)	(1,808,263)
貸付金	524,193	530,920
保険約款貸付	47,088	46,850
一般貸付	477,104	484,069
有形固定資産	247,321	247,587
無形固定資産	26,917	25,973
代理店貸	100	85
再保険	62	6
その他の資産	55,516	47,756
前払年金費用	1,614	1,755
繰延税金資産	13,829	-
貸倒引当金	△ 826	△ 867
資産の部合計	7,226,280	7,427,280

期別 科目	2022年度末 要約貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第1四半期会計期間末 (2023年6月30日現在)
(負債の部)		
保険契約準備金	5,916,509	5,952,185
支払準備金	21,523	18,757
責任準備金	5,830,565	5,850,360
社員配当準備金	64,420	83,067
再保険	46	46
社債	241,935	241,935
その他の負債	204,041	162,050
未払法人税等	101	1,113
リース債務	345	294
資産除去債務	2,328	2,340
その他の負債	201,264	158,302
退職給付引当金	25,951	26,251
価格変動準備金	177,188	176,624
繰延税金負債	-	52,050
再評価に係る繰延税金負債	14,164	14,164
負債の部合計	6,579,836	6,625,309
(純資産の部)		
基金	12,000	12,000
基金償却積立金	116,000	116,000
再評価積立金	112	112
剰余金	126,981	110,555
損失填補準備金	3,463	3,548
その他の剰余金	123,518	107,007
基金償却準備金	7,200	9,600
社員配当平衡積立金	20,000	20,000
価格変動積立金	41,000	41,000
不動産圧縮準備金	205	204
別途準備金	767	767
四半期末処分剰余金	* 54,346	35,436
基金等合計	255,093	238,668
その他有価証券評価差額金	386,882	558,834
土地再評価差額金	4,468	4,468
評価・換算差額等合計	391,350	563,302
純資産の部合計	646,444	801,970
負債及び純資産の部合計	7,226,280	7,427,280

(注) * 2022年度末要約貸借対照表の四半期末処分剰余金は、当期末処分剰余金を示しております。

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度 第1四半期累計期間 〔 2022年 4月 1日から 2022年 6月30日まで 〕	2023年度 第1四半期累計期間 〔 2023年 4月 1日から 2023年 6月30日まで 〕
	経 常 収 益		244,513
保 険 料 等 収 入		180,248	150,334
(うち 保 険 料)	(180,215)	(150,327)
資 産 運 用 収 益		57,972	67,000
(うち 利息及び配当金等収入)	(39,014)	(35,647)
(うち 金 銭 の 信 託 運 用 益)	(—)	(135)
(うち 売買目的有価証券運用益)	(759)	(576)
(うち 有 価 証 券 売 却 益)	(10,431)	(16,312)
(うち 為 替 差 益)	(3,975)	(2,142)
(うち 特別勘定資産運用益)	(—)	(11,155)
そ の 他 経 常 収 益		6,292	6,587
(うち 支 払 備 金 戻 入 額)	(2,827)	(2,765)
(うち 保険金等支払引当金戻入額)	(1,700)	(—)
経 常 費 用		230,385	210,317
保 険 金 等 支 払 金		166,285	137,111
(うち 保 険 金)	(75,786)	(49,864)
(うち 年 金)	(38,157)	(37,926)
(うち 給 付 金)	(35,038)	(31,301)
(うち 解 約 返 戻 金)	(11,962)	(12,950)
(うち そ の 他 返 戻 金)	(5,290)	(5,023)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		10,275	19,797
責 任 準 備 金 繰 入 額		10,272	19,794
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		3	3
資 産 運 用 費 用		25,018	24,888
(うち 支 払 利 息)	(1,109)	(1,100)
(うち 金 銭 の 信 託 運 用 損)	(95)	(—)
(うち 有 価 証 券 売 却 損)	(5,930)	(12,922)
(うち 有 価 証 券 評 価 損)	(1,539)	(37)
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用)	(9,272)	(4,920)
(うち 特別勘定資産運用損)	(2,422)	(—)
事 業 費 用		22,244	22,058
そ の 他 経 常 費 用		6,560	6,461
経 常 利 益		14,127	13,605
特 別 利 益		0	563
固 定 資 産 等 処 分 益		0	—
価 格 変 動 準 備 金 戻 入 額		—	563
特 別 損 失		956	620
固 定 資 産 等 処 分 損		19	48
減 損 損 失		—	571
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		937	—
税 引 前 四 半 期 純 剰 余		13,170	13,548
法 人 税 及 び 住 民 税		2,581	2,880
法 人 税 等 調 整 額		△ 876	△ 1,010
法 人 税 等 合 計		1,705	1,870
四 半 期 純 剰 余		11,465	11,678

(第1四半期貸借対照表の注記)

1. 保険業法施行規則第59条の6は、保険業法第111条第6項に規定する保険契約者その他の顧客が当該保険会社及びその子会社等の業務及び財産の状況を知るために参考となるべき事項のうち特に重要なものについて開示する努力をすることを求めています。本四半期財務諸表は、当該努力義務の履行のため、生命保険協会が作成した第1・第3四半期発表様式モデル(以下「四半期報告モデル」という。)及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して作成されております。なお、四半期報告モデルは、前述の努力義務の履行を目的として作成されているため、四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則に定められている開示とは異なっております。
2. 前年度の剰余金処分案が2023年7月4日の総代会にて承認されているため、当第1四半期会計期間末(2023年6月30日現在)における四半期貸借対照表はこれを反映して作成しております。
3. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は502,666百万円であります。
4. 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当期首現在高	64,420百万円
前期剰余金よりの繰入額	28,002百万円
当第1四半期累計期間社員配当金支払額	9,357百万円
利息による増加等	3百万円
当第1四半期会計期間末現在高	83,067百万円
5. 2023年6月29日開催の取締役会において、当年度中に劣後特約付社債500百万米ドルを上限として発行すること及び2023年9月19日に劣後特約付社債500百万米ドルを繰上償還することを決議いたしました。

(第1四半期損益計算書の注記)

1. 当第1四半期累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。
 - (1) 資産のグルーピング方法
保険事業の用に供している不動産等については、保険事業全体で一つの資産グループとしております。それ以外の賃貸不動産等及び遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに一つの資産グループとしております。
 - (2) 減損損失の認識に至った経緯
賃料収入の減少や地価の下落により収益性が著しく低下した一部の賃貸不動産等及び遊休不動産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。
 - (3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

①賃貸不動産等	
土地	一百万円
建物等	一百万円
合計	一百万円
②遊休不動産等	
土地	88百万円
建物等	483百万円
合計	571百万円
③合計(①+②)	
土地	88百万円
建物等	483百万円
合計	571百万円
 - (4) 回収可能価額の算定方法
回収可能価額は正味売却価額を適用しております。なお、正味売却価額については、鑑定評価額、又は公示価格ないし路線価に基づく評価額を使用しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2022年度 第1四半期累計期間	2023年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	12,237	13,725
キャピタル収益	18,491	19,971
金銭の信託運用益	—	118
売買目的有価証券運用益	607	518
有価証券売却益	10,431	16,312
金融派生商品収益	—	—
為替差益	3,975	2,142
その他キャピタル収益	3,476	878
キャピタル費用	15,510	16,993
金銭の信託運用損	130	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	5,930	12,922
有価証券評価損	1,539	37
金融派生商品費用	9,272	4,920
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	△ 1,362	△ 887
キャピタル損益	B	2,977
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	16,703
臨時収益	1,897	2
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	197	2
その他臨時収益	1,700	—
臨時費用	2,989	3,100
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	211	224
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	2,777	2,875
臨時損益	C	△ 3,097
経常利益	A+B+C	13,605

（注1）基礎利益及びキャピタル損益は、過年度分を含め改正後の基準で算出しております。

（注2）その他項目の内訳は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2022年度 第1四半期累計期間	2023年度 第1四半期累計期間
基礎利益	△ 4,652	△ 1,691
金銭の信託運用損益のうち利息及び配当金等収入に該当する額	34	17
売買目的有価証券運用損益のうち利息及び配当金等収入に該当する額	152	58
為替差損益のうち為替に係るヘッジコスト	△ 1,362	△ 887
有価証券償還損益のうち為替変動部分	△ 3,476	△ 878
その他キャピタル収益	3,476	878
有価証券償還損益のうち為替変動部分	3,476	878
その他キャピタル費用	△ 1,362	△ 887
為替差益のうち為替に係るヘッジコスト	△ 1,362	△ 887
その他臨時収益	1,700	—
保険金等支払引当金戻入額	1,700	—
その他臨時費用	2,777	2,875
保険業法施行規則第69条第5項に基づく責任準備金の繰入額	2,777	2,875

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2022年度末	2023年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1,836,582	2,059,437
基金等	224,172	228,932
価格変動準備金	177,188	176,624
危険準備金	167,888	168,113
一般貸倒引当金	404	448
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ 損益(税効果控除前))×90%	481,590	696,549
土地の含み損益×85%	155,499	155,661
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	393,521	395,390
負債性資本調達手段等	241,935	241,935
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本 調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 46,783	△ 46,783
その他	41,164	42,567
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	323,968	355,081
保険リスク相当額 R_1	21,405	21,350
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	10,092	10,110
予定利率リスク相当額 R_2	21,074	20,805
最低保証リスク相当額 R_7	—	—
資産運用リスク相当額 R_3	294,386	325,298
経営管理リスク相当額 R_4	6,939	7,551
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,133.8%	1,159.9%

- (注) 1. 2022年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。2023年度第1四半期会計期間末は、これらの規定に準じて算出しています。
2. 「控除項目」は子会社であるフコクしんらい生命保険株式会社に対する増資額です。

(参考) 経済価値ベースのソルベンシー比率

項 目	2022年度末	2023年度 第1四半期 会計期間末
経済価値ベースのソルベンシー比率 (ESR)	233.8%	241.0%

- (注) 経済価値ベースのソルベンシー比率 (ESR, Economic Solvency Ratio) とは、資産と負債を時価評価したうえで、リスクに対して十分な自己資本が確保できているかを示す保険会社の健全性指標の一つであり、当社では欧州の手法に準拠して算出しています。2023年度第1四半期会計期間末の数値は保険負債やリスクの一部について簡便法を用いて計算しています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2022年度末		2023年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額保険	—	—	—	—
個人変額年金保険	—	—	—	—
団体年金保険	—	118,783	—	126,361
特別勘定計	—	118,783	—	126,361

(2) 保有契約高

- ・個人変額保険

個人変額保険につきましては、販売していません。

- ・個人変額年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2022年度末		2023年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	—	—	—	—
合 計	—	—	—	—

8. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位：億円)

項 目	2022年度 第1四半期 連結累計期間	2023年度 第1四半期 連結累計期間
経 常 収 益	2,905	3,035
経 常 利 益	141	147
親会社に帰属する四半期純剰余	113	122
四 半 期 包 括 利 益	△ 456	1,857

項 目	2022年度末	2023年度 第1四半期連結会計期間末
総 資 産	88,837	91,336
ソルベンシー・マージン比率	1,171.9%	1,194.6%

(2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	6 社
持分法適用非連結子会社数	0 社
持分法適用関連会社数	0 社

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2022年度末 要約連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日現在)
(資産の部)		
現金及び預貯金	524,841	439,397
コーポレートローン	130,000	150,000
金銭の信託	25,897	22,463
有価証券	7,321,344	7,654,481
貸付金	527,561	534,330
有形固定資産	247,723	247,960
無形固定資産	28,690	27,720
代理店貸	0	0
再保険貸	83	7
その他の資産	61,085	53,965
退職給付に係る資産	1,184	1,407
繰延税金資産	16,131	2,800
貸倒引当金	△ 826	△ 867
資産の部合計	8,883,718	9,133,666

期 別 科 目	2022年度末 要約連結貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第1四半期連結会計期間末 (2023年6月30日現在)
(負債の部)		
保険契約準備金	7,540,406	7,620,085
支払準備金	26,326	23,270
責任準備金	7,449,355	7,513,478
社員配当準備金	64,420	83,067
契約者配当準備金	304	268
代理店借	461	448
再保険借	60	54
社の他負債	241,935	241,935
退職給付に係る負債	208,704	168,551
退職給付に係る負債	25,220	25,476
価格変動準備金	188,538	188,058
繰延税金負債	0	53,004
再評価に係る繰延税金負債	14,164	14,164
負債の部合計	8,219,491	8,311,779
(純資産の部)		
基金	12,000	12,000
基金償却積立金	116,000	116,000
再評価積立金	112	112
連結剰余金	133,303	117,465
基金等合計	261,415	245,577
その他有価証券評価差額金	390,148	563,281
土地再評価差額金	4,468	4,468
為替換算調整勘定	△ 58	10
退職給付に係る調整累計額	274	380
その他の包括利益累計額合計	394,833	568,141
非支配株主持分	7,977	8,169
純資産の部合計	664,226	821,887
負債及び純資産の部合計	8,883,718	9,133,666

(4) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	2022年度 第1四半期連結累計期間 〔2022年 4月 1日から 2022年 6月30日まで〕	2023年度 第1四半期連結累計期間 〔2023年 4月 1日から 2023年 6月30日まで〕
経 常 収 益	290,545	303,564
保 険 料 等 収 入	220,931	224,898
資 産 運 用 収 益	62,670	71,648
（うち 利息及び配当金等収入）	（ 42,953 ）	（ 40,295 ）
（うち 金 銭 の 信 託 運 用 益）	（ - ）	（ 135 ）
（うち 売買目的有価証券運用益）	（ 759 ）	（ 576 ）
（うち 有 価 証 券 売 却 益）	（ 11,192 ）	（ 16,312 ）
（うち 為 替 差 益）	（ 3,974 ）	（ 2,142 ）
（うち 特別勘定資産運用益）	（ - ）	（ 11,155 ）
そ の 他 経 常 収 益	6,943	7,017
（うち 支 払 備 金 戻 入 額）	（ 3,096 ）	（ 3,055 ）
経 常 費 用	276,367	288,820
保 険 金 等 支 払 金	202,263	167,662
（うち 保 険 金）	（ 78,422 ）	（ 52,880 ）
（うち 年 金）	（ 65,056 ）	（ 58,613 ）
（うち 給 付 金）	（ 36,409 ）	（ 32,244 ）
（うち 解 約 返 戻 金）	（ 16,962 ）	（ 18,826 ）
（うち そ の 他 返 戻 金）	（ 5,345 ）	（ 5,039 ）
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	16,817	64,126
責 任 準 備 金 繰 入 額	16,813	64,122
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額	3	3
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額	0	0
資 産 運 用 費 用	24,696	24,545
（うち 支 払 利 息）	（ 1,111 ）	（ 1,104 ）
（うち 金 銭 の 信 託 運 用 損）	（ 95 ）	（ - ）
（うち 有 価 証 券 売 却 損）	（ 5,930 ）	（ 12,922 ）
（うち 有 価 証 券 評 価 損）	（ 1,539 ）	（ 37 ）
（うち 金 融 派 生 商 品 費 用）	（ 9,272 ）	（ 4,920 ）
（うち 特別勘定資産運用損）	（ 2,422 ）	（ - ）
事 業 費 用	24,494	25,033
そ の 他 経 常 費 用	8,096	7,453
経 常 利 益	14,177	14,743
特 別 利 益	0	479
固 定 資 産 等 処 分 益	0	-
価 格 変 動 準 備 金 戻 入 額	-	479
特 別 損 失	1,033	609
固 定 資 産 等 処 分 損	20	37
減 損 損 失	-	571
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	1,012	-
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	49	45
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 剰 余	13,094	14,568
法 人 税 及 び 住 民 税 等	2,716	3,340
法 人 税 等 調 整 額	△ 934	△ 1,108
法 人 税 等 合 計	1,781	2,232
四 半 期 純 剰 余	11,313	12,336
非支配株主に帰属する四半期純剰余 (△は非支配株主に帰属する四半期純損失)	△ 1	69
親会社に帰属する四半期純剰余	11,314	12,266

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	2022年度 第1四半期連結累計期間 〔2022年 4月 1日から 2022年 6月30日まで〕	2023年度 第1四半期連結累計期間 〔2023年 4月 1日から 2023年 6月30日まで〕
四 半 期 純 剰 余	11,313	12,336
そ の 他 の 包 括 利 益	△ 56,995	173,445
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 57,273	173,270
為 替 換 算 調 整 勘 定	137	68
退 職 給 付 に 係 る 調 整 額	140	105
四 半 期 包 括 利 益	△ 45,682	185,781
親 会 社 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益	△ 45,499	185,573
非 支 配 株 主 に 係 る 四 半 期 包 括 利 益	△ 183	207

(第1 四半期連結貸借対照表の注記)

1. 保険業法施行規則第 59 条の 6 は、保険業法第 111 条第 6 項に規定する保険契約者その他の顧客が当該保険会社及びその子会社等の業務及び財産の状況を知るために参考となるべき事項のうち特に重要なものについて開示する努力をすることを求めています。本四半期連結財務諸表は、当該努力義務の履行のため、生命保険協会が作成した第 1・第 3 四半期発表様式モデル(以下「四半期報告モデル」という。)及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して作成されております。なお、四半期報告モデルは、前述の努力義務の履行を目的として作成されているため、四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則に定められている開示とは異なっております。
2. 前連結会計年度の剰余金処分案が 2023 年 7 月 4 日の総代会にて承認されているため、当第 1 四半期連結会計期間末(2023 年 6 月 30 日現在)における四半期連結貸借対照表はこれを反映して作成しております。
3. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は 502,666 百万円でありませ
4. 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首現在高	64,420 百万円
前連結会計年度剰余金よりの繰入額	28,002 百万円
当第 1 四半期連結累計期間社員配当金支払額	9,357 百万円
利息による増加等	3 百万円
当第 1 四半期連結会計期間末現在高	83,067 百万円
5. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首現在高	304 百万円
当第 1 四半期連結累計期間契約者配当金支払額	82 百万円
利息による増加等	0 百万円
契約者配当準備金繰入額	45 百万円
当第 1 四半期連結会計期間末現在高	268 百万円
6. 2023 年 6 月 29 日開催の取締役会において、当連結会計年度中に劣後特約付社債 500 百万米ドルを上限として発行すること及び 2023 年 9 月 19 日に劣後特約付社債 500 百万米ドルを繰上償還することを決議いたしました。

(第1四半期連結損益計算書の注記)

1. 当第1四半期連結累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 資産のグルーピング方法

保険事業の用に供している不動産等については、保険事業全体で一つの資産グループとしております。それ以外の賃貸不動産等及び遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに一つの資産グループとしております。

(2) 減損損失の認識に至った経緯

賃料収入の減少や地価の下落により収益性が著しく低下した一部の賃貸不動産等及び遊休不動産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳

① 賃貸不動産等

土地	一百万円
建物等	一百万円
合計	一百万円

② 遊休不動産等

土地	88百万円
建物等	483百万円
合計	571百万円

③ 合計 (①+②)

土地	88百万円
建物等	483百万円
合計	571百万円

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は正味売却価額を適用しております。なお、正味売却価額については、鑑定評価額、又は公示価格ないし路線価に基づく評価額を使用しております。

2. 当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(賃貸用不動産等減価償却費を含む)は、4,018百万円です。

(5) 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2022年度末	2023年度 第1四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	1,923,471	2,149,217
基金等	238,663	244,174
価格変動準備金	188,538	188,058
危険準備金	170,512	170,792
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	404	448
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%	486,289	702,765
土地の含み損益×85%	155,499	155,661
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	381	528
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	395,807	397,694
負債性資本調達手段等	241,935	241,935
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	45,439	47,158
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2} + R_8 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	328,259	359,792
保険リスク相当額 R_1	21,801	21,745
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	10,241	10,260
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	21,398	21,133
最低保証リスク相当額 R_7	—	—
資産運用リスク相当額 R_3	298,225	329,548
経営管理リスク相当額 R_4	7,033	7,653
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,171.9%	1,194.6%

(注) 2022年度末は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。2023年度第1四半期連結会計期間末は、これらの規定に準じて算出しています。

(6) セグメント情報

当社及び連結子会社は、生命保険事業以外に国内にて投資運用事業及び投資助言事業、システム開発事業、海外にて投資運用事業及び投資助言事業等を営んでいますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報及び関連情報の記載を省略しています。